

9 皮膚搔痒を伴う維持透析患者にビタミンE固定化膜を使用した1症例

医療法人偕行会長野 駒ヶ根共立クリニック
 市ノ羽宏樹 新倉秀雄 中沢幹 丸野志緒美
 坂井祥平 池戸駿 宮脇佳利 河野啓一

【背景】

ビタミンE固定化ダイアライザを使用し搔痒改善を認めた¹⁾との報告があり、当院でビタミンE固定化ヘモダイアフィルタヴィエラ V-22RA の使用経験により搔痒改善効果について検討したので報告する。

【対象症例】

症例：80歳代、男性
 透析歴：4年8ヶ月
 原疾患：糖尿病性腎症
 主訴：全身皮膚搔痒

【方法】

治療条件：オンライン HDF
 希釈方法：前希釈
 置換液量：36L (9L/h)
 血液流量：200mL/min
 透析液流量：500mL/min
 透析時間：4.0 時間
 使用ヘモダイアフィルタ：ABH®-22PA (以下 ABH) (旭化成メディカル株式会社)、ヴィエラ® V-22RA (以下ヴィエラ) (旭化成メディカル株式会社)
 観察期間：202X-1 年 12 月～202X 年 7 月の約 8 ヶ月間であった。そのうち ABH：X-1 年 12 月～X 年 1 月、X 年 6 月、ヴィエラ：X 年 2 月～5 月、X 年 7 月で変更使用した。研究期間中の条件変更はヘモダイアフィルタのみとした。

本研究に同意を得られた患者 1 名に対し、ヘモダイアフィルタ ABH とヴィエラを一定期間使用し、皮膚搔痒の程度を観察した。

本人の皮膚搔痒の訴えを採血日に白取の分類を改変した搔痒 Verbal Rating Scale (以下：搔痒 VRS) を参考に 0～4 の 5 段階で評価した。

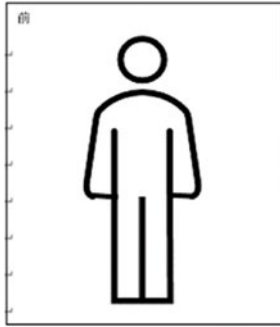
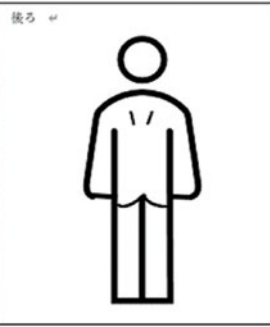
評価内容を統一するため、専用の評価シートを作成し聴取した。評価シートを下記へ記す。

搔痒評価シート

R 年 月 日 患者氏名 _____

〇図に搔痒のある部位と、搔痒の度合い(0～4)を記入してください。

0:全く痒くない 1:ムズムズするが掻くほどではない 2:軽く掻けば治まる 3:掻かずにはいられない 4:両手を掻かないと痒い

| | |
|--|---|
| 前 | 後ろ |
|  |  |

〇皮膚状態であてはまるものにチェックし、その部位を記載してください。

乾燥 () 部位 ()

掻破痕 () 部位 ()

皮 疹 () 部位 ()

〇どんな時に痒くなるか当てはまるものにチェックしてください。

1 日中 () 透析中 () 透析後 () 暑い時 () 寒い時 ()

入浴中 () 入浴後 () 朝 () 昼 () 夜 ()

図 1 搔痒 VRS 評価シート

膜変更後1週間後に採血を行い、アルブミン(以下Alb)、 α 1-ミクログロブリン(以下 α 1-MG)、IL-6、CRP、無機リン(以下IP)、好酸球数、Thymus and activation-regulated chemokine(以下TARC)の値を比較した。検体測定は、ビー・エム・エル株式会社へ依頼した。

【結果】

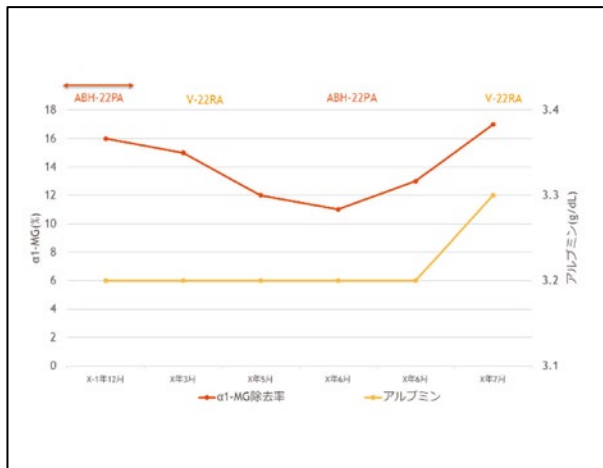


図2 α 1MG 除去率と Alb の臨床経過

掻痒が改善する α 1MGの除去率の指標は20~30%と言われているが達成できず、最高値で17%であった。Albは観察開始から3.2で経過しX年7月に3.3に上昇した。

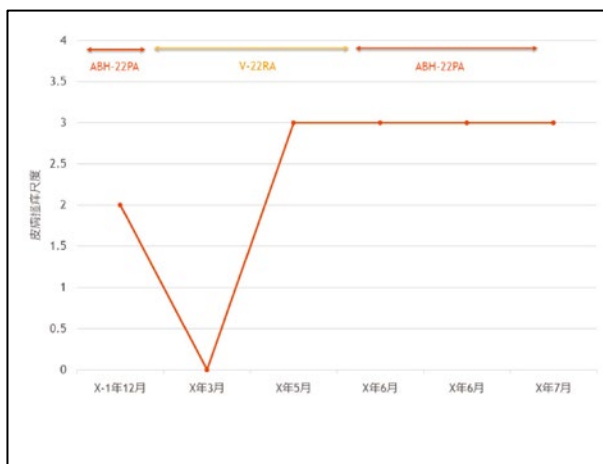


図3 掻痒 VRS の臨床経過

皮膚掻痒のVASはヴィエラに変更後0になったがその後は3に上昇しその後は横ばいで経過した。

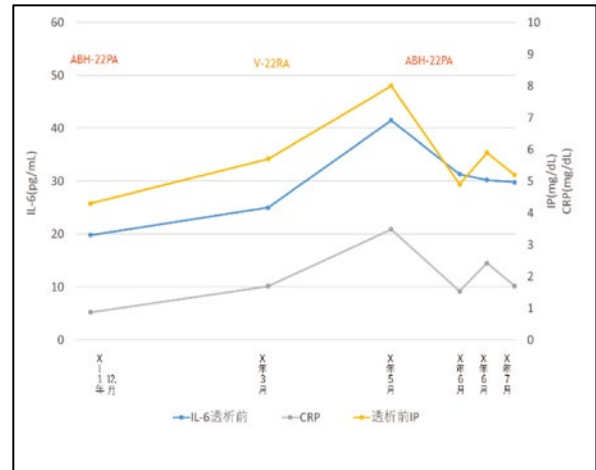


図4 IL-6・IP・CRP の臨床経過

観察開始からIL-6、IP、CRPともに上昇傾向で経過しX年5月にIL-6 41.5pg/ml、IP 8.0mg/dl、CRP 3.48mg/dlと最高値となった。その後、それぞれ低下がみられたがX年6月にIPとCRPは上昇し、IL-6は上昇せず経過した。

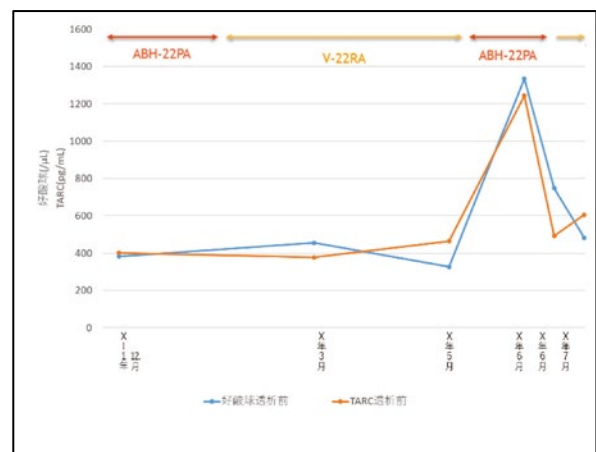


図5 好酸球・TARC の臨床経過

ヴィエラ使用期間中にもTARCが377→465pg/mlと上昇を認め、X年7月のABHからヴィエラへ変更後もTARCが492→605pg/mlと上昇を認めた。

【考察】

今回の症例では Alb が低値であったため条件を上げられず掻痒 VRS 改善に繋がらなかった原因の一つとも考えられた。

ABH からヴィエラ変更後に掻痒 VRS は 0 に低下したため改善効果に期待したが、ヴィエラ使用期間中に 3 へ上昇した。加えて TARC、IL-6、CRP、IP が上昇傾向を示し、その後 ABH からヴィエラへ変更後に TARC が上昇していることからヴィエラによる掻痒軽減効果はなかったと推察した。

【結語】

本症例では皮膚掻痒に対するヴィエラ V-22RA の軽減効果は認めず、有用とは言えなかった。

【COI の開示】

本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にあたる企業等はなし。

【参考文献】

- 1) 泉川由布, 兒島憲一郎, 富丘聡 他. 好酸球増多症を呈した血液透析患者にビタミン E 固定化ポリスルホン膜が奏功した一例 腎と透析 Vol.72 No.2, 271-274, 2012